

2016年度第2四半期決算説明資料

2016年10月28日
川崎重工業株式会社

2016年度連結業績予想の概要

(億円)

	7月公表	今回公表	増減
売上高	15,700	15,100	▲600
営業利益	700	340	▲360
経常利益	690	250	▲440
親会社株主に帰属する 当期純利益	490	165	▲325

1株当たり配当／年間	10円	6円	▲4円
------------	-----	----	-----

前提為替レート	ドル (¥/\$)	110	102
	ユーロ (¥/EUR)	125	114

円高の影響▲260億円

船舶海洋事業の悪化▲130億円

(内訳)

- ブラジル向けドリルシップの損失処理 ▲50億円
- ノルウェー向けオフショア作業船のコスト増 ▲60億円
- LNG船の建造コスト増 ▲20億円

決算説明の目次

I. 2016年度第2四半期連結決算の概要

◇ 第2四半期決算実績 サマリー	4
◇ 第2四半期決算実績 セグメント別	5
◇ 前年同期比損益計算書の概要	6
◇ セグメント別決算実績	
船舶海洋	7
車両	8
航空宇宙	9
ガスタービン・機械	10
プラント・環境	11
モーターサイクル&エンジン	12
精密機械	13
◇ 貸借対照表の概要	14
◇ キャッシュ・フローの概要	15

II. 2016年度業績見通し

◇ 連結受注高・売上高・利益見通し	16
◇ セグメント別通期業績見通し	17
◇ セグメント別税前ROIC等の推移	18
◇ 研究開発費・設備投資・期末従業員数	19
◇ <参考資料> ヒストリカル・データ	20

第2四半期決算実績 サマリー

(億円)

	2015年度 2Q累計	2016年度 2Q累計		増 減	
	実績	7月公表	実績	前年同期比	7月公表比
受注高	7,388	-	5,384	▲2,003	-
売上高	7,081	7,000	6,972	▲108	▲28
営業利益	423	220	84	▲338	▲136
経常利益	402	220	▲17	▲420	▲237
親会社株主に帰属する 四半期純利益	268	145	▲2	▲271	▲147

前年同期比

【受注高】

船舶海洋、プラント・環境を中心に減少

【売上高】

プラント・環境の増収の一方で、前期に建設機械を譲渡したこと等により、全体では前年同期並み

【利益】

円高の影響や船舶海洋の悪化等により営業利益は減益、経常損益および親会社株主に帰属する四半期純損益は損失となった

売上加重 平均レート	ドル (¥/\$)	120.65	110	105.94
	ユーロ (¥/EUR)	134.45	125	122.63

(参考) 2Q決算実績における影響外貨量 (億外貨)

ドル	ユーロ
11.7	1.9

第2四半期決算実績 セグメント別

(億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	2015年度 2Q累計	2016年度 2Q累計	増減	2015年度 2Q累計	2016年度 2Q累計	増減	2015年度 2Q累計	2016年度 2Q累計	増減
船舶海洋	674	86	▲588	518	516	▲2	▲31	▲164	▲133
車 両	657	577	▲80	627	623	▲4	35	▲6	▲41
航空宇宙	1,346	989	▲357	1,668	1,689	+21	256	201	▲55
ガスタービン・機械	1,158	1,026	▲131	1,033	1,066	+32	81	29	▲51
プラント・環境	750	343	▲407	558	785	+227	26	17	▲9
モーターサイクル&エンジン	1,430	1,285	▲144	1,430	1,285	▲144	5	▲24	▲29
精密機械	640	714	+73	639	657	+17	38	39	+0
そ の 他	728	362	▲366	605	349	▲256	12	13	+0
調 整 額※	-	-	-	-	-	-	▲3	▲20	▲17
合 計	7,388	5,384	▲2,003	7,081	6,972	▲108	423	84	▲338

※ 「調整額」には、本社部門で発生する費用で社内管理上各部門への配賦を行わない費用等を含む

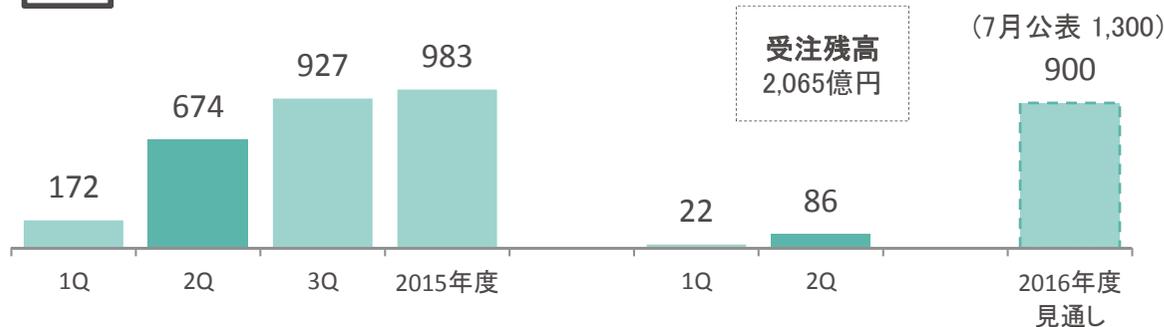
前年同期比損益計算書の概要

				2015. 2Q		2016. 2Q	
【営業損益】	前年同期比	▲	338 億円	(423 億円	⇒	84 億円)
・売上高		▲	108 億円	(7,081 億円	⇒	6,972 億円)
・売上原価		+	200 億円	(5,752 億円	⇒	5,952 億円)
・販売費および一般管理費		+	28 億円	(906 億円	⇒	935 億円)
うち給料および手当		▲	8 億円	(258 億円	⇒	250 億円)
うち研究開発費		+	14 億円	(192 億円	⇒	206 億円)
【営業外損益】	前年同期比	▲	82 億円	(▲ 20 億円	⇒	▲ 102 億円)
・金融収支（受取配当金を含む）		+	4 億円	(▲ 13 億円	⇒	▲ 8 億円)
・持分法による投資利益		+	15 億円	(13 億円	⇒	29 億円)
・為替差損益		▲	61 億円	(▲ 45 億円	⇒	▲ 106 億円)
・その他		▲	41 億円	(25 億円	⇒	▲ 16 億円)
【特別損益】	前年同期比	+	22 億円	(- 億円	⇒	22 億円)
・固定資産売却益		+	22 億円	(- 億円	⇒	22 億円)

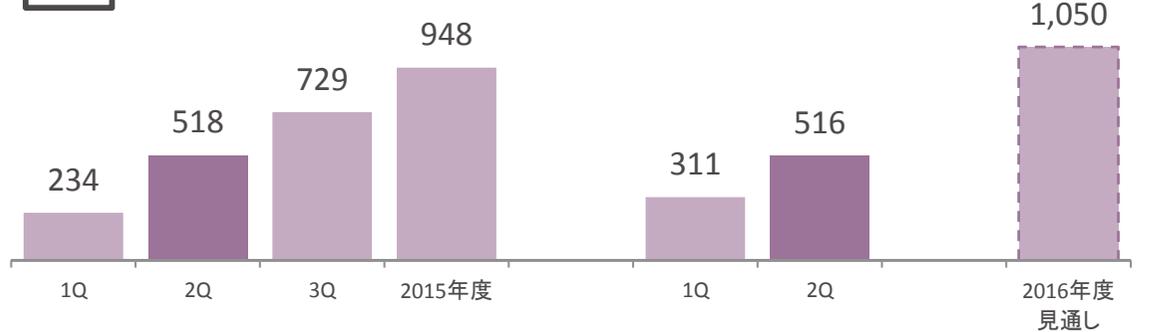
船舶海洋

主要製品：LNG船、LPG船、オフショア船、ばら積み運搬船、潜水艦 (億円/各期の数値は累計)

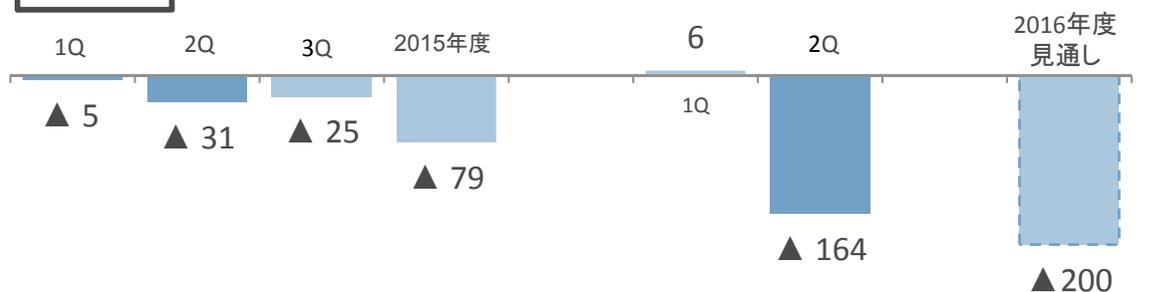
受注



売上



営業利益



当第2四半期実績 (前年同期比)

受注 新造船需要の低下により減少
売上 前年同期並み
営業利益 ブラジルの現地合弁会社向け売掛債権への貸倒引当金の追加計上、円高およびコスト増に伴う受注工事損失引当金の繰入れ増等により損益悪化

2016年度見通し (7月公表比)

受注 一部案件の期ずれにより見通しを引き下げ
売上 ノルウェー向けオフショア作業船の進捗見直し等により見通しを引き下げ
営業利益 ブラジルの現地合弁会社向け売掛債権への貸倒引当金の追加計上、円高およびコスト増に伴う受注工事損失引当金の繰入れ増等により見通しを引き下げ

<新造船の受注・売上隻数> (隻)

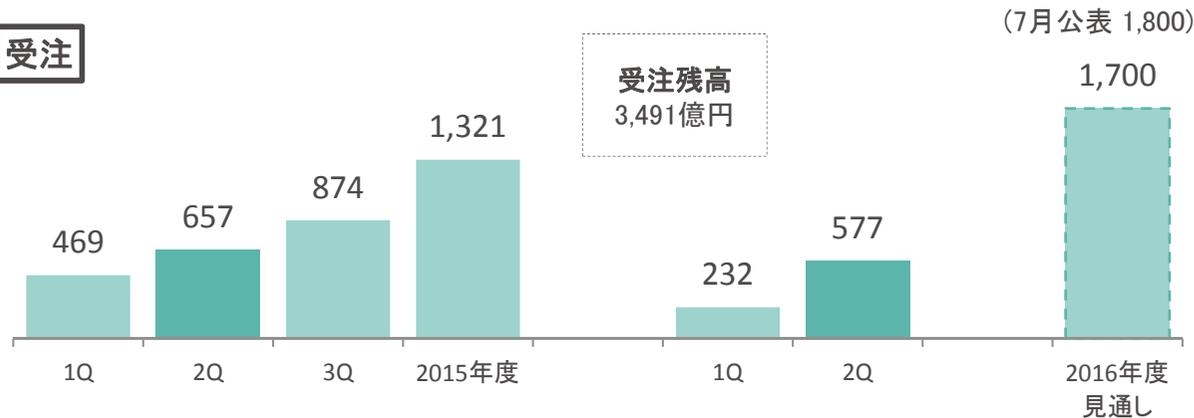
	受注(2Q累計)		売上(2Q累計)			
	2015年度	2016年度	2015年度		2016年度	
			完工	進行基準	完工	進行基準
LNG船	2			5	1	8
小型LNG船						
LPG船	2			3		4
オフショア船						
ばら積み運搬船	1		1	2		1
潜水艦				2		2
深海救難艇				1		1
合計	5	0	1	13	1	16

	2014年度実績	2015年度実績	2016年度見通し	
			7月公表	今回公表
税前ROIC	6.0%	▲38.4%	1.0%	▲28.8%

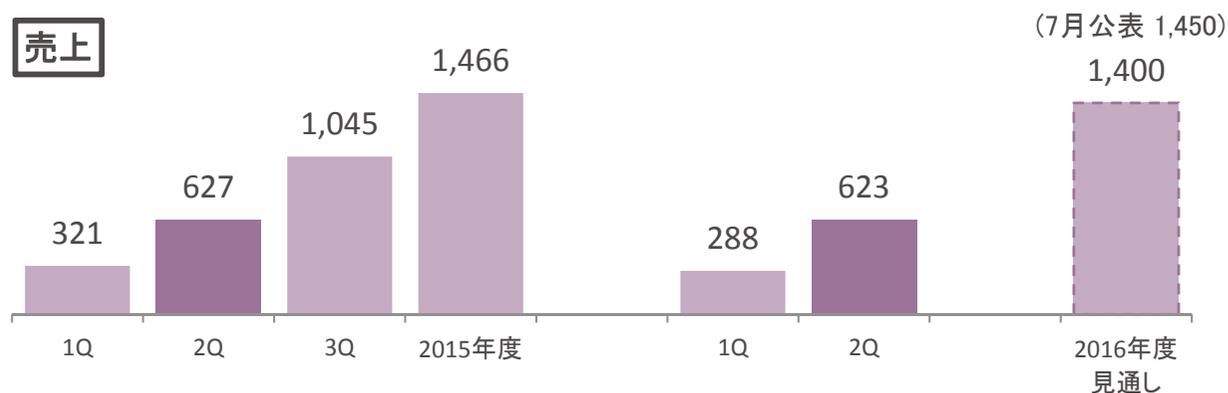
車 両

主要製品： 各種電車(新幹線含む)、機関車、客車、台車、ギガセル(二次電池) (億円/各期の数値は累計)

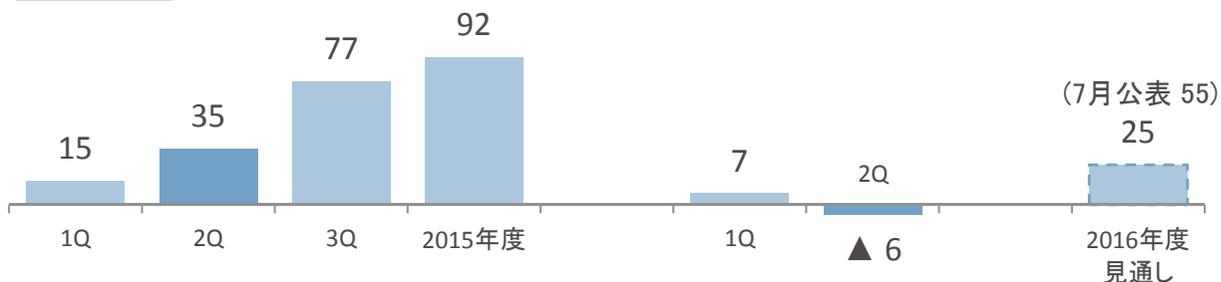
受注



売上



営業利益



当第2四半期実績 (前年同期比)

- 受注** 北米向けで大口案件を受注した前年同期に比べ減少
- 売上** 国内向けが増加したものの、円高の影響および海外向けの減少により前年同期並み
- 営業利益** 円高の影響や高採算案件の減少、コスト増等により損益悪化

2016年度見通し (7月公表比)

- 受注・売上** 一部案件の期ずれや円高の影響により、見通しを引き下げ
- 営業利益** 円高の影響により見通しを引き下げ

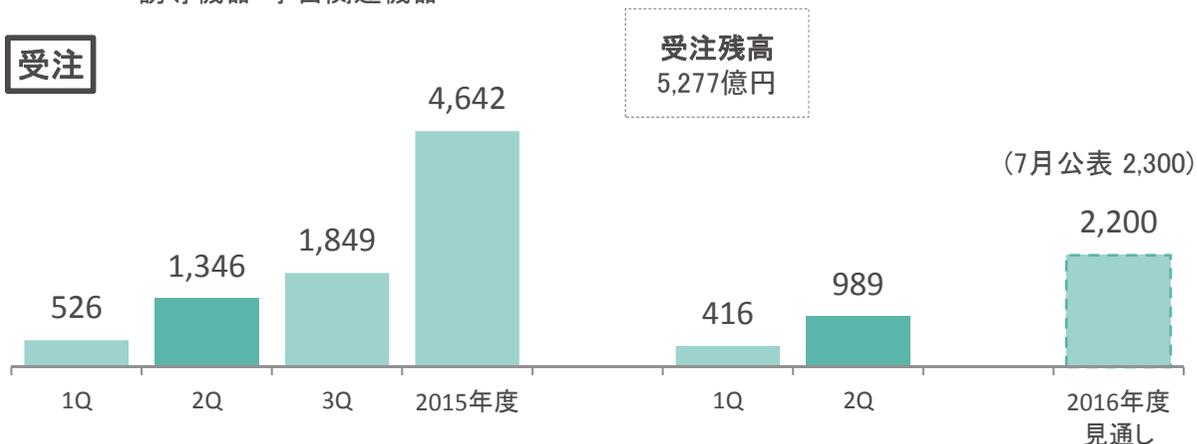
	2014年度実績	2015年度実績	2016年度見通し	
			7月公表	今回公表
税前ROIC	8.7%	11.7%	8.0%	3.2%

航空宇宙

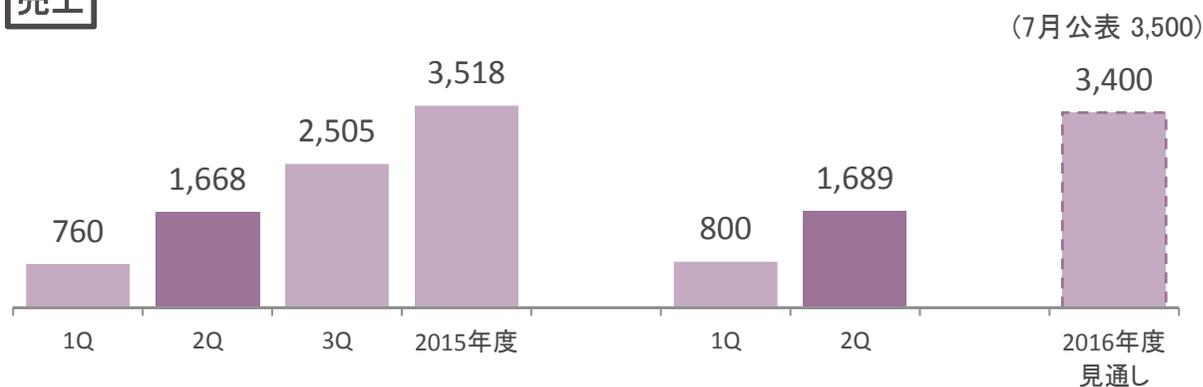
主要製品： 防衛航空機、民需航空機分担製造品、民間向けヘリコプター、誘導機器・宇宙関連機器

(億円/各期の数値は累計)

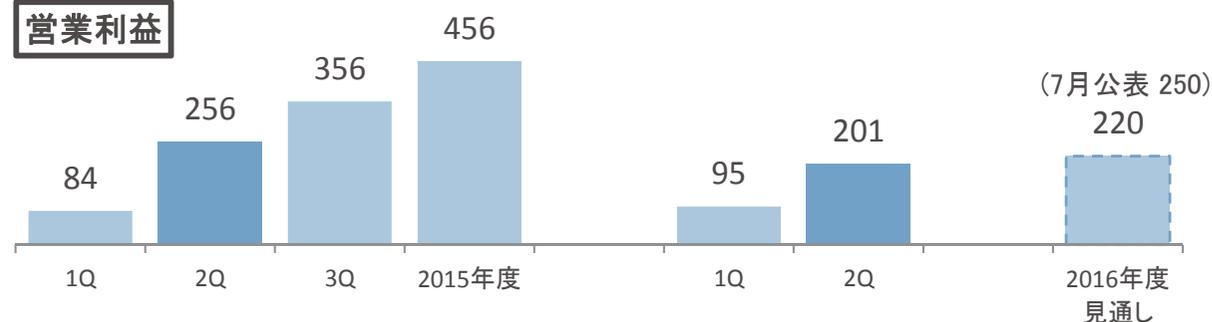
受注



売上



営業利益



当第2四半期実績 (前年同期比)

- 受注** 円高の影響や民間航空機向け分担製造品の減少等により減少
- 売上** 円高の影響はあったものの、防衛省向けの増加や民間航空機向け分担製造品が高水準を維持したこと等により前年同期並み
- 営業利益** 民間航空機向け分担製造品の収益性低下等により減益

2016年度見通し (7月公表比)

- 受注・売上** 円高の影響により見通しを引き下げ
- 営業利益** コストダウン等の改善を推進するものの、円高の影響により見通しを引き下げ

<民需分担製造品の売上機数> (機)

	2015年度2Q累計	2016年度2Q累計
Boeing 777	51	51
Boeing 767	8	13
Boeing 787	61	65
Embraer170/175	40	49
Embraer190/195	5	10

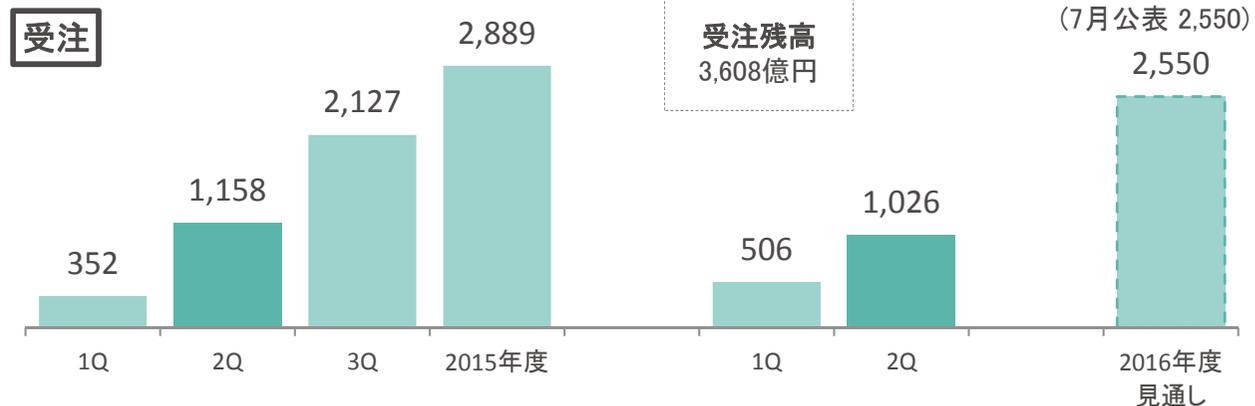
	2014年度実績	2015年度実績	2016年度見通し	
			7月公表	今回公表
税前ROIC	35.1%	33.9%	13.5%	10.4%

ガスタービン・機械

主要製品： 航空機用エンジン、産業用ガスタービン・コージェネレーション、
ガスエンジン、ディーゼル機関、陸用・船用タービン、空力・水力機械

(億円/各期の数値は累計)

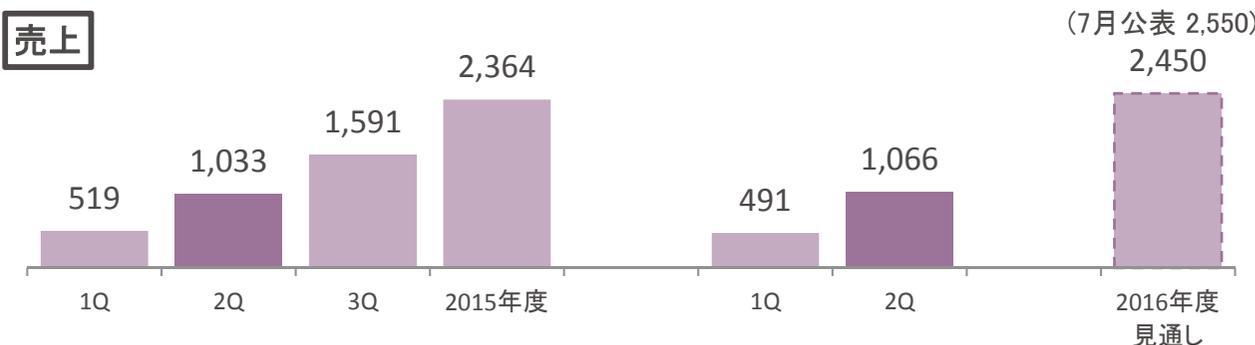
当第2四半期実績 (前年同期比)



受注 航空エンジン分担製造品の新規プロジェクト参画時に同案件を一括受注した前年同期に比べ減少

売上 円高の影響はあったものの、航空エンジン分担製造品の増加やガスエンジン発電所にかかる工事量増加等により前年同期並み

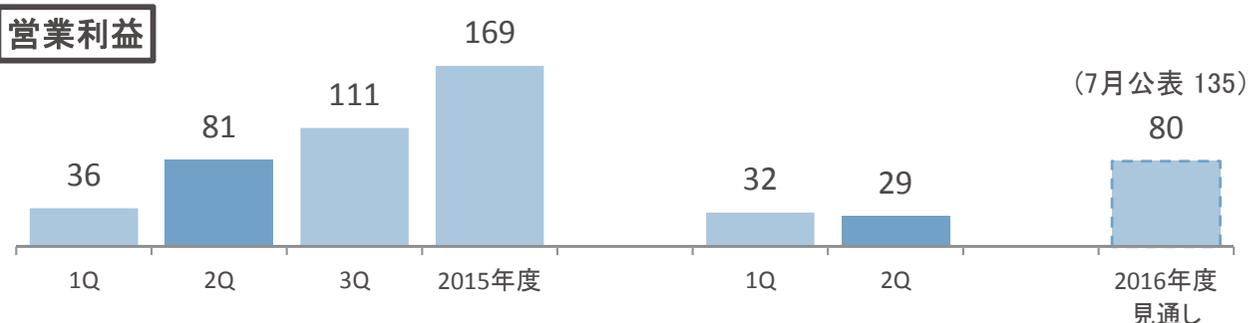
営業利益 航空エンジン分担製造品における新規プログラム開発費償却負担の増加等により減益



2016年度見通し (7月公表比)

受注 前回から大きな変動は無く見通しを据え置き

売上・営業利益 円高の影響および一部案件の期ずれにより見通しを引き下げ

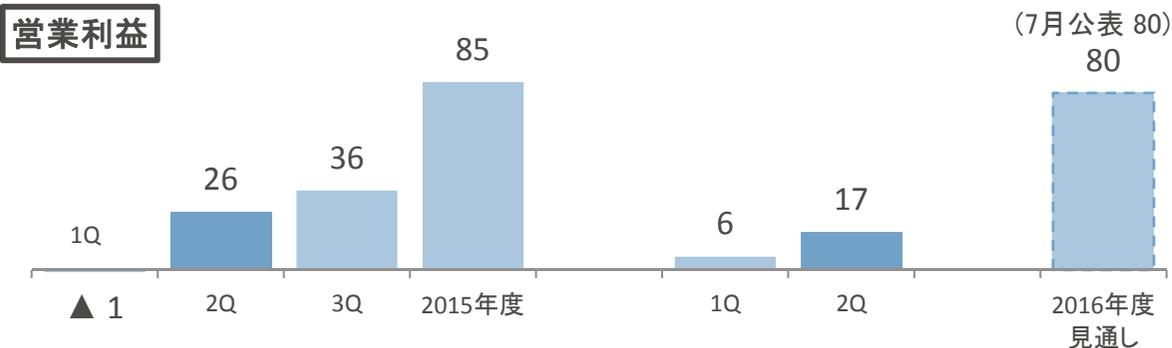
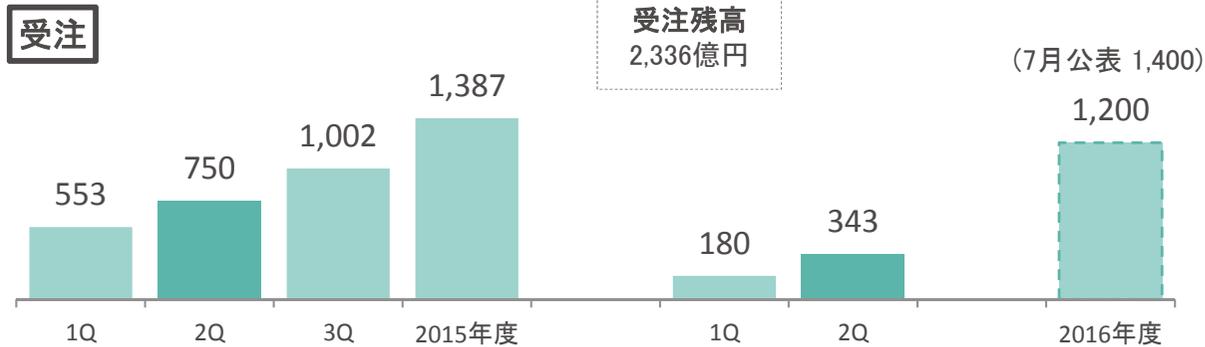


	2014年度実績	2015年度実績	2016年度見通し	
			7月公表	今回公表
税前ROIC	5.7%	8.8%	6.3%	4.3%

プラント・環境

主要製品： 産業プラント(セメント、肥料等)、発電プラント、LNGタンク、
ごみ焼却プラント、トンネル掘削機、破碎機

(億円/各期の数値は累計)



当第2四半期実績 (前年同期比)

- 受注** 国内向けごみ焼却プラント等の大口案件を受注した前年同期に比べ減少
- 売上** 海外向け化学プラントの工事量増加等により増収
- 営業利益** 増収があったものの工事費の増加に伴う収益性低下等により減益

2016年度見通し (7月公表比)

- 受注** 一部プロジェクトの期ずれにより見通しを引き下げ
- 売上・営業利益** 前回から大きな変動は無く、見通しを据え置き

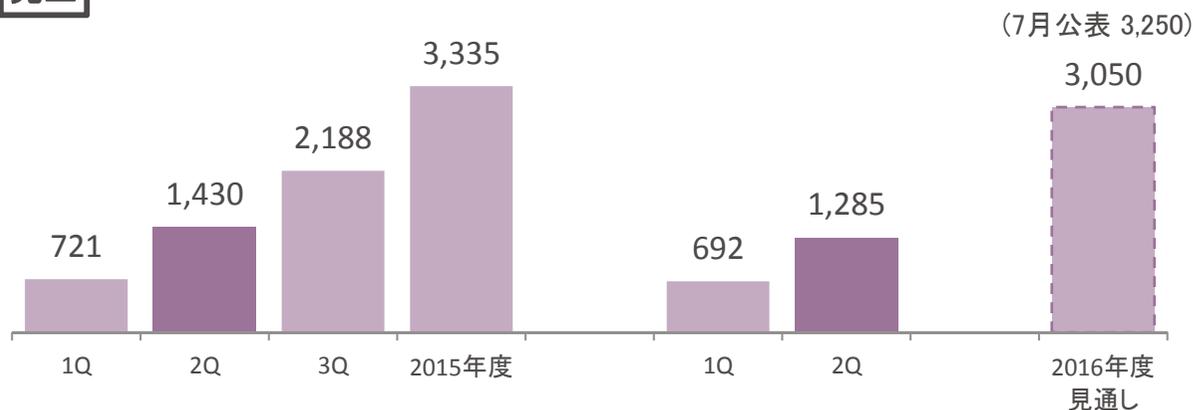
	2014年度実績	2015年度実績	2016年度見通し	
			7月公表	今回公表
税前ROIC	14.3%	17.5%	16.3%	16.3%

モーターサイクル&エンジン

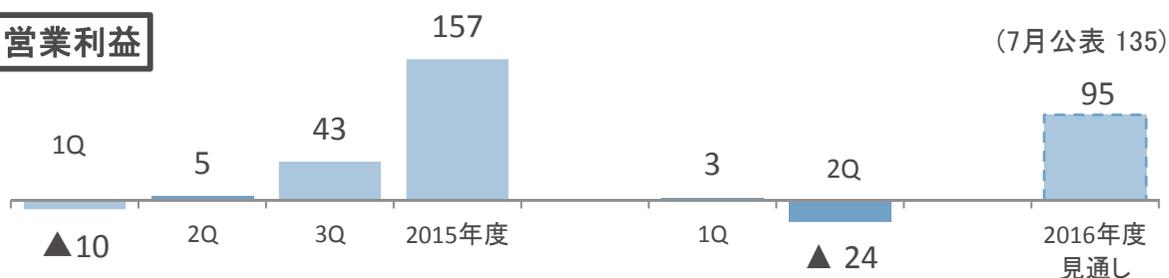
主要製品： 二輪車、多用途四輪車、四輪バギー車(ATV)、
パーソナルウォータークラフト、汎用エンジン

(億円/各期の数値は累計)

売上



営業利益



<コンシューマー向け製品 地域別売上(卸売)台数・金額>

(千台、億円)

	2015年度				2016年度			
	2Q累計		通期		2Q累計		通期見通し	
	台数	金額	台数	金額	台数	金額	台数	金額
国内	9	78	15	132	10	80	17	134
北米(カナダ含む)	40(19)	421	105(51)	1,122	42(20)	372	113(60)	1,013
欧州	26	237	64	552	30	237	66	520
新興国等	145	469	340	1,063	157	420	332	924
合計	221	1,205	524	2,869	239	1,109	528	2,591

注1)二輪車、四輪バギー車(ATV)、多用途四輪車、パーソナルウォータークラフト(「ジェットスキー」)及びこれらの関連製品を含む。
注2)括弧内は二輪車分を示す。(内数)

当第2四半期実績 (前年同期比)

売上 先進国向け二輪車や四輪車が増加したものの、円高の影響や汎用エンジンの減少等により減収

営業利益 減収により損益悪化

2016年度見通し (7月公表比)

売上 先進国向け二輪車の増加はあるものの、円高の影響により見通しを引き下げ

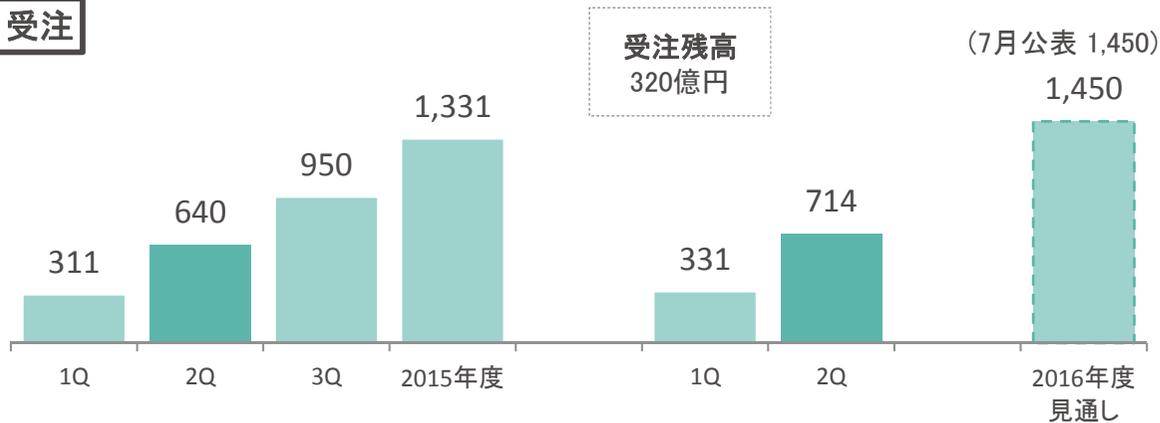
営業利益 増販並びに収益改善策の増益効果はあるものの、円高の影響により見通しを引き下げ

	2014年度 実績	2015年度 実績	2016年度見通し	
			7月公表	今回公表
税前ROIC	7.3%	14.1%	10.2%	6.0%

精密機械

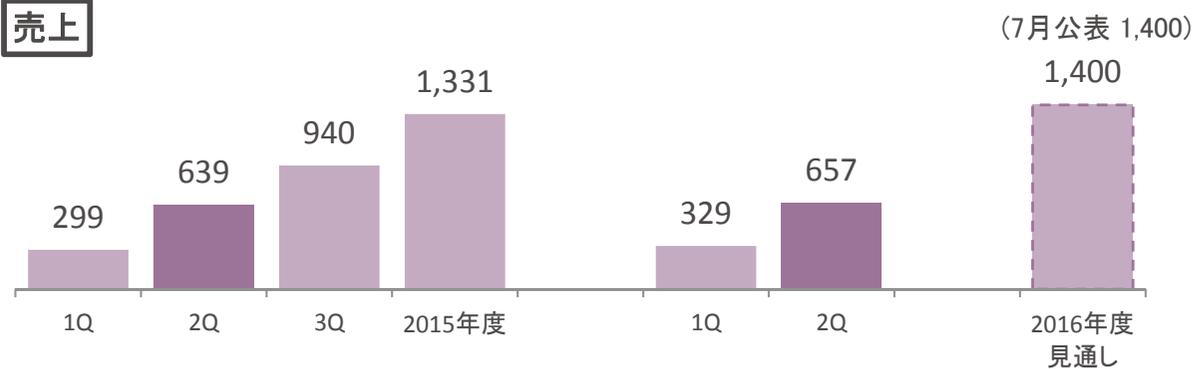
主要製品： 建設機械用油圧機器、産業機械用油圧機器・装置
 船用舵取機、船用各種甲板機械、産業用ロボット、医薬・医療ロボット
 (億円/各期の数値は累計)

受注

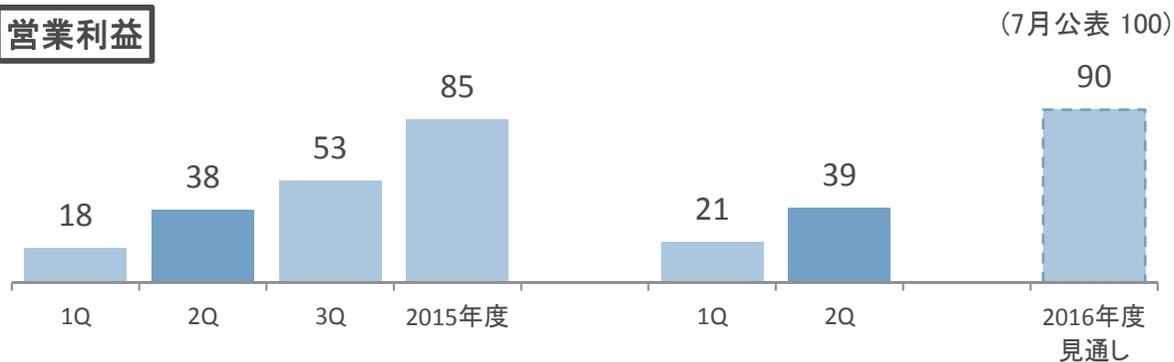


受注残高
320億円

売上



営業利益



当第2四半期実績 (前年同期比)

受注 油圧機器や各種産業用ロボットの増加等により増加
売上・営業利益 前年同期並み

2016年度見通し (7月公表比)

受注・売上 中国建機市場向け油圧機器の増加が見込めるものの、円高の影響により見通しを据え置き
営業利益 中国建機市場向け増収に伴う増益はあるものの、円高の影響により見通しを引き下げ

	2014年度実績	2015年度実績	2016年度見通し	
			7月公表	今回公表
税前ROIC	16.7%	9.5%	10.8%	8.0%

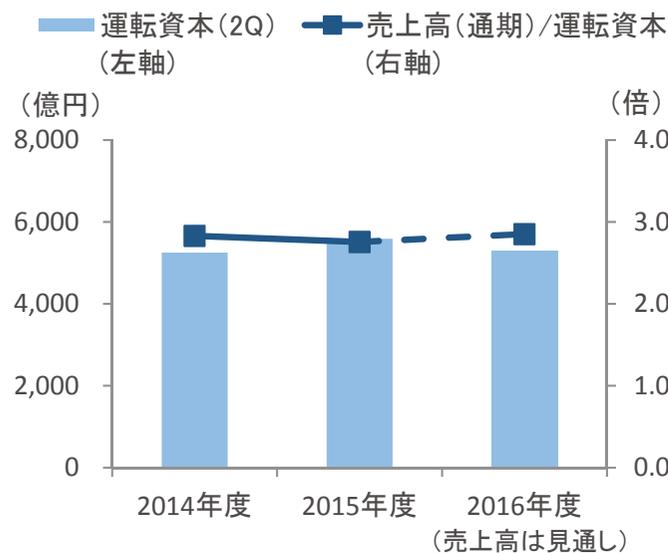
貸借対照表の概要

(億円)

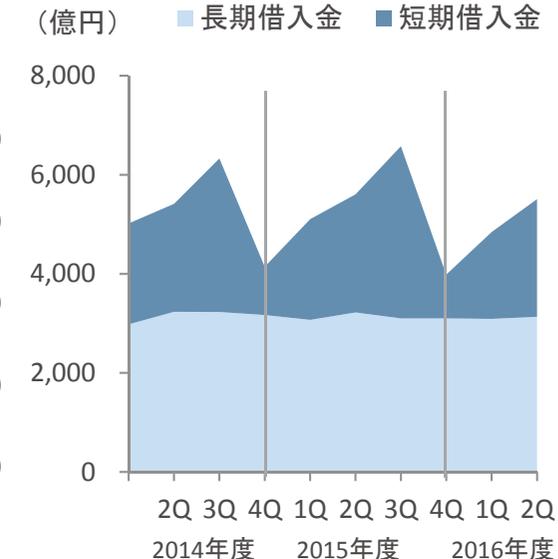
	2015年度末	2016年度 2Q末	増減
現預金	421	394	▲26
売掛債権	3,813	4,300	+487
棚卸資産	4,929	4,965	+35
有形・無形固定資産	4,520	4,583	+63
その他資産	2,519	2,326	▲193
資産計	16,204	16,570	+366
買掛債務	3,217	2,916	▲300
借入債務	3,984	5,506	+1,522
前受金	1,704	1,467	▲236
その他負債	2,841	2,662	▲179
負債計	11,748	12,553	+805
株主資本	4,384	4,197	▲186
その他純資産	72	▲180	▲252
純資産計	4,456	4,016	▲439
負債・純資産計	16,204	16,570	+366

自己資本比率	26.6%	23.4%
NET D/Eレシオ	82.5%	131.3%

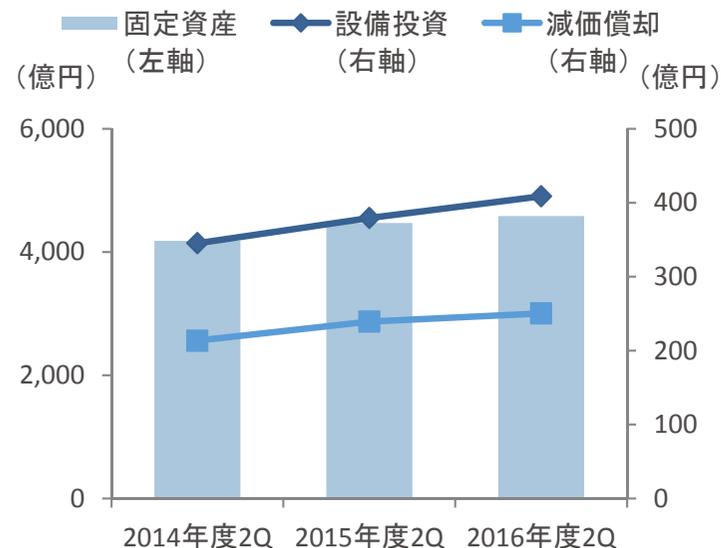
【運転資本の推移】



【有利子負債の推移】



【設備投資等の推移】



【貸借対照表の概況】

総資産は、売掛債権の増加等により、前期末に比べ増加。
負債は、買掛債務等の減少がある一方、借入債務の増加により、前期末に比べ増加。
純資産は、円高に伴う為替換算調整勘定の変動や、配当金の支払等により、前期末に比べ減少。

キャッシュ・フローの概要

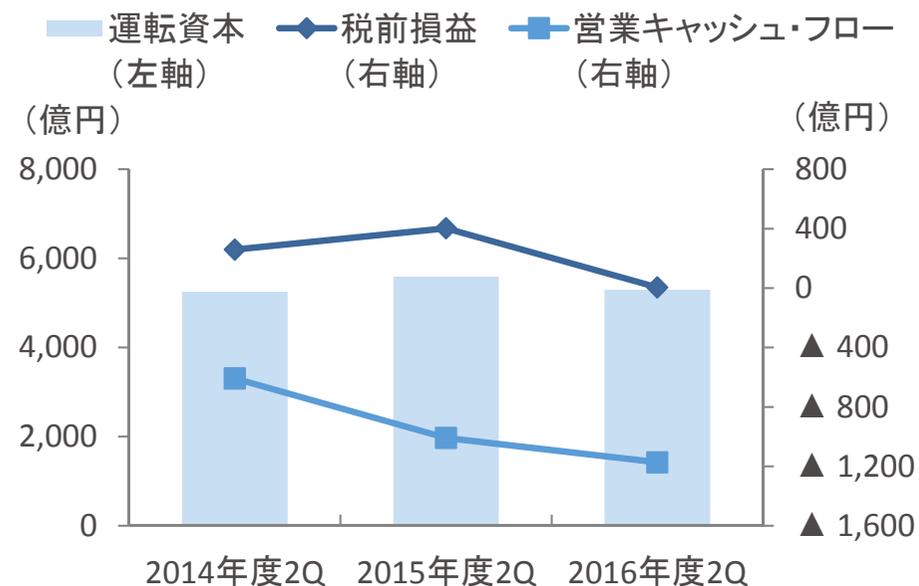
(億円)

	2015年度 2Q累計	2016年度 2Q累計	増減
営業キャッシュ・フロー	▲1,008	▲1,172	▲163
投資キャッシュ・フロー	▲407	▲316	+91
フリー・キャッシュ・フロー	▲1,416	▲1,488	▲72
財務キャッシュ・フロー	1,355	1,439	+84

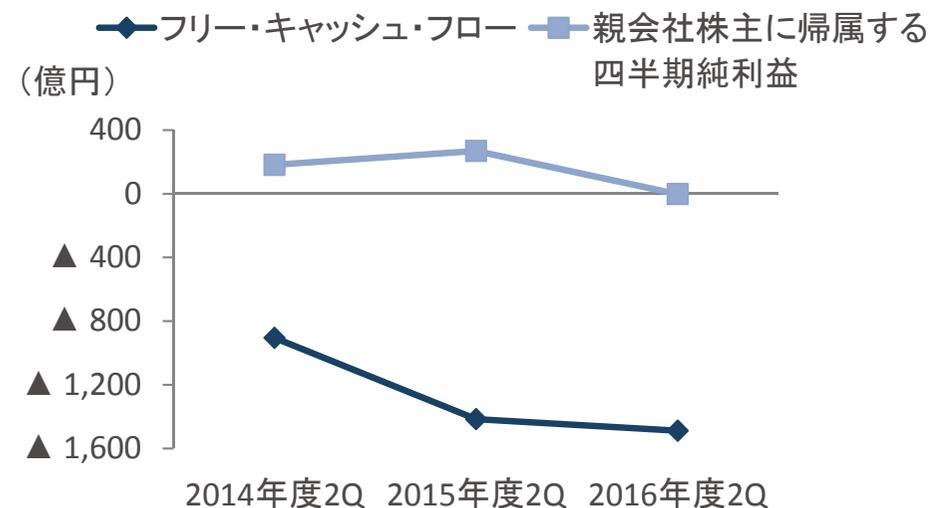
【キャッシュ・フローの概況(前年同期比)】

営業キャッシュ・フローは、航空宇宙の運転資本の増加等により、前年同期に比べ悪化。
投資キャッシュ・フローは、設備投資額の減少等により好転。
結果、フリー・キャッシュ・フローは悪化。

【営業キャッシュ・フロー等の推移】



【フリー・キャッシュ・フローと親会社株主に帰属する四半期純利益の推移】



連結受注高・売上高・利益見通し

(億円)

	2015年度 実績	2016年度見通し		増 減	
		7月公表	今回公表	前年度比	7月公表比
受注高	16,936	15,000	13,900	▲3,036	▲1,100
売上高	15,410	15,700	15,100	▲310	▲600
営業利益	959	700	340	▲619	▲360
経常利益	932	690	250	▲682	▲440
親会社株主に帰属する 当期純利益	460	490	165	▲295	▲325
税前ROIC	9.4%	8.3%	3.8%	▲5.6%	▲4.5%
ROE	10.6%	11.0%	3.9%	▲6.7%	▲7.1%

修正の理由等

【受注】

船舶海洋を中心に見通しを引き下げ

【売上】

モーターサイクル&エンジン、船舶海洋等での減収により見通しを引き下げ

【利益】

・営業利益は、円高の影響および船舶海洋でのブラジル現地合弁会社向け売掛債権への貸倒引当金の追加計上や、ノルウェー向けオフショア作業船におけるコスト増に伴う受注工事損失引当金の繰入れ増等により、見通しを引き下げ

・経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益は、営業利益の減少により見通しを引き下げ

実績/前提 レート	ドル (¥/\$)	118.99	110	102
	ユーロ (¥/EUR)	132.43	125	114

(参考) 為替影響額

1円の変動による影響額

(億円)

	営業利益	経常利益
ドル	19.2	15.5
ユーロ	0.9	0.9

注) 前提レートは見通し公表時の為替エクスポージャーに対して適用

セグメント別通期業績見通し

(億円)

	受注高			売上高			営業利益		
	2015年度 実績	2016年度 見通し		2015年度 実績	2016年度 見通し		2015年度 実績	2016年度 見通し	
		7月公表	今回公表		7月公表	今回公表		7月公表	今回公表
船舶海洋	983	1,300	900	948	1,200	1,050	▲79	▲15	▲200
車 両	1,321	1,800	1,700	1,466	1,450	1,400	92	55	25
航空宇宙	4,642	2,300	2,200	3,518	3,500	3,400	456	250	220
ガスタービン・機械	2,889	2,550	2,550	2,364	2,550	2,450	169	135	80
プラント・環境	1,387	1,400	1,200	1,356	1,550	1,550	85	80	80
モーターサイクル&エンジン	3,335	3,250	3,050	3,335	3,250	3,050	157	135	95
精密機械	1,331	1,450	1,450	1,331	1,400	1,400	85	100	90
そ の 他	1,044	950	850	1,088	800	800	28	40	35
調 整 額※	-	-	-	-	-	-	▲37	▲80	▲85
合 計	16,936	15,000	13,900	15,410	15,700	15,100	959	700	340

※ 「調整額」には、本社部門で発生する費用で社内管理上各部門への配賦を行わない費用等を含む

セグメント別税前ROIC等の推移

	税前ROIC (税引前利益+支払利息)/投下資本)		
	2015年度 実績	2016年度 見通し	
		7月公表	今回公表
船舶海洋	▲38.4%	1.0%	▲28.8%
車 両	11.7%	8.0%	3.2%
航空宇宙	33.9%	13.5%	10.4%
ガスタービン・ 機械	8.8%	6.3%	4.3%
プラント・環境	17.5%	16.3%	16.3%
モーターサイクル& エンジン	14.1%	10.2%	6.0%
精密機械	9.5%	10.8%	8.0%
合 計	9.4%	8.3%	3.8%

	営業利益率 (営業利益/売上高)		総資産回転率(倍) (売上高/総資産)			
	2015年度 実績	2016度 見通し		2015年度 実績	2016年度 見通し	
		7月公表	今回公表		7月公表	今回公表
	▲8.3%	▲1.2%	▲19.0%	0.61	0.75	0.77
	6.3%	3.7%	1.7%	0.85	0.90	0.83
	12.9%	7.1%	6.4%	0.92	0.80	0.83
	7.1%	5.2%	3.2%	0.75	0.70	0.72
	6.2%	5.1%	5.1%	1.12	1.30	1.31
	4.7%	4.1%	3.1%	1.36	1.30	1.29
	6.4%	7.1%	6.4%	0.93	0.95	1.00
	6.2%	4.4%	2.2%	0.95	0.95	0.92

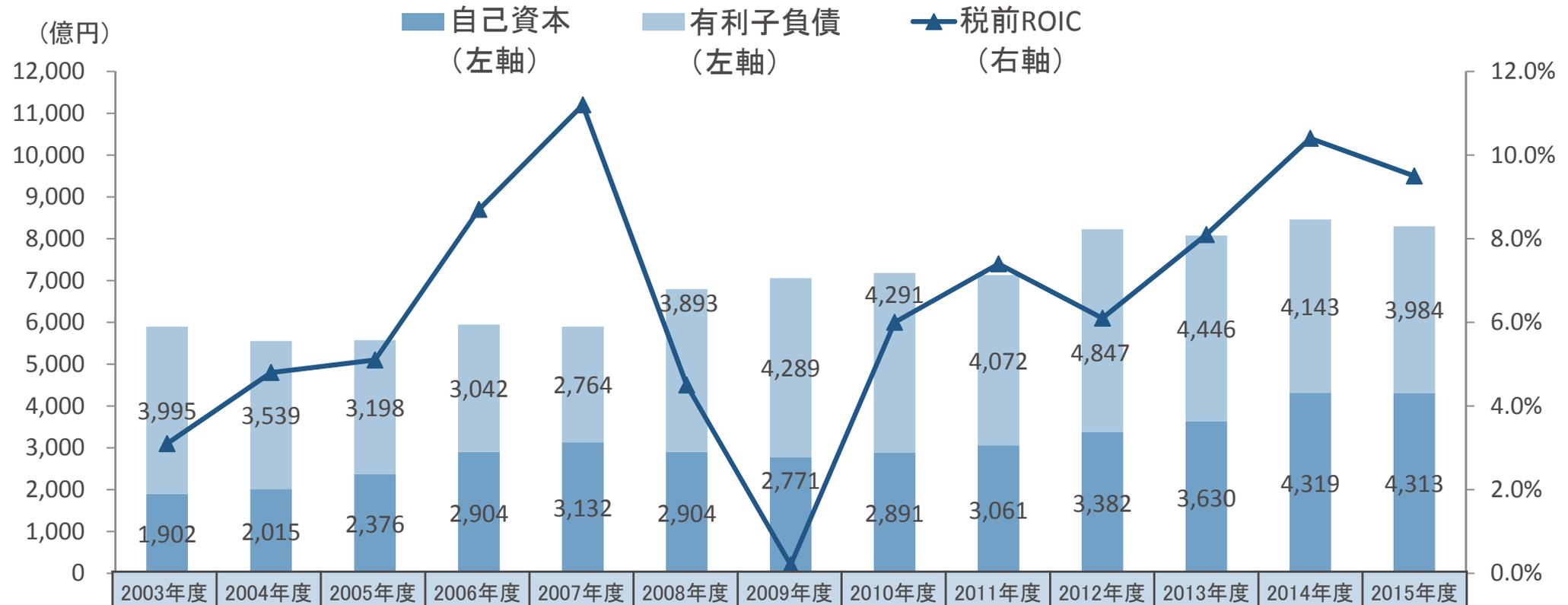
研究開発費・設備投資・期末従業員数

(億円・人)

		2015年度 実績	2016年度見通し		
			7月公表	今回公表	7月公表比
研究開発費		436	470	470	0
設備投資		763	980	870	▲110
減価償却費		490	560	520	▲40
	国内	25,897	26,700	26,600	▲100
	海外	8,708	9,000	8,900	▲100
期末従業員数		34,605	35,700	35,500	▲200

・ 設備投資額は有形・無形固定資産の新規計上額、減価償却費は有形・無形固定資産の減価償却実施額

ヒストリカル・データ



	2003年度	2004年度	2005年度	2006年度	2007年度	2008年度	2009年度	2010年度	2011年度	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度
税前ROIC	3.1%	4.8%	5.1%	8.7%	11.2%	4.5%	0.2%	6.0%	7.4%	6.1%	8.1%	10.4%	9.4%
投下資本	5,896	5,553	5,573	5,946	5,896	6,797	7,059	7,182	7,132	8,228	8,076	8,463	8,297
売上高	11,602	12,415	13,224	14,386	15,010	13,385	11,734	12,269	13,037	12,888	13,854	14,861	15,410
営業利益	222	247	417	691	769	287	▲13	426	574	420	723	872	959
経常利益	121	210	308	490	639	387	142	491	636	393	606	842	932
親会社株主に帰属する 当期純利益※	63	114	164	297	351	117	▲108	259	233	308	386	516	460

※ 2014年度までは「当期純利益」

為替レート 円/\$	113	108	112	117	115	101	93	86	79	82	99	109	118
------------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	----	----	----	----	----	-----	-----

世界の人々の豊かな生活と地球環境の未来に貢献する “Global Kawasaki”

ご注意

本資料のうち、業務見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみを依拠して投資判断を下すことはお控え下さるようお願い致します。実際の業績は、外部環境及び内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることを御承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。